

住宅&住宅設備トレンドウォッチ

住まい・暮らしレポート

住宅&住宅設備トレンドウォッチ

都市生活レポートのご紹介 自宅の防犯に関する意識と実態



2019.4.19

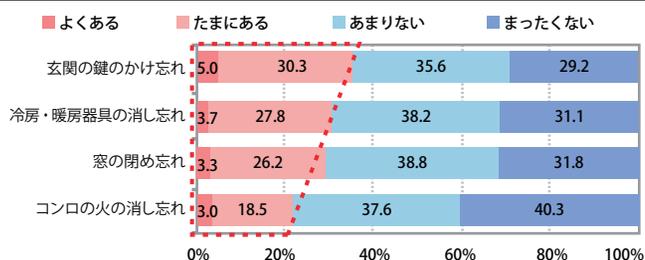
全国でおよそ 81 万件*。これは、警察庁が発表している平成 30 年における犯罪認知件数（刑法犯）です。日々様々な事件が起きていますが、都市生活研究所が実施した防犯に関する調査によると、「自宅の防犯対策を行っている（あてはまる、ややあてはまる）」と回答した人は約 3 割に留まっています。日頃、不安になることは少ないのでしょうか。調査結果をもとに、一都三県在住者の防犯に関する意識と実態をみていきます。

※警察庁「平成 30 年の犯罪情勢【暫定値】」より

1 不安を感じていても、対策を行っていない人が多い

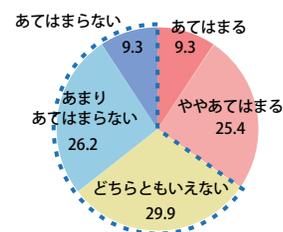
外出時の自宅の様子についてどの程度不安になるか聞いたところ、「よくある」「たまにある」と答えた人（不安になることがある人）が 2-3 割でした（図 1）。不安になることがある人の防犯対策をみたところ、行っていない人が 6 割強であり、不安を感じている人でも対策を行っている人は少ないことがわかります（図 2）。犯罪はめったに起こらないことだから、自分の家は大丈夫だろうと考えているのではないのでしょうか。

図 1. 外出時に自宅のことで不安になること



[TULIPWEB 調査 2019 年 1 月 / n=1200]

図 2. 自宅の防犯対策を行っている

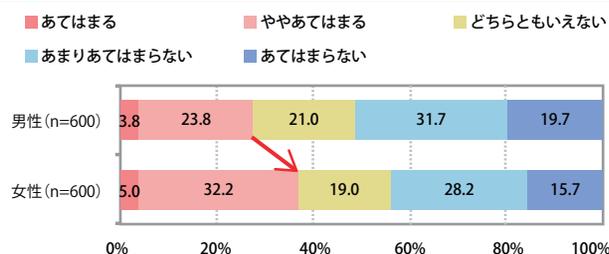


[TULIPWEB 調査 2019 年 1 月 / 不安になることがある人 n=623]

2 不安が大きい女性

自宅の防犯に関して不安を感じる人は 2-3 割でしたが、男女別にみると、女性では 4 割弱が不安になることがあると答えており、男性よりも約 10 ポイント高いことから、女性の防犯に関する不安は男性より大きいことがわかります。

図 3. 外出時に自宅の様子が不安になることがある【男女別】



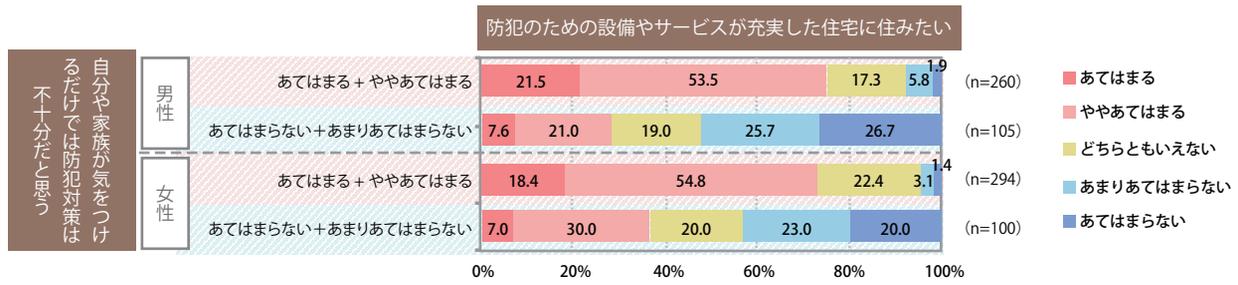
[TULIPWEB 調査 2019 年 1 月 / n=1200]

3 家の設備やサービスで防犯対策を望む人が多い

それでは、このような防犯に関する不安を解消するためにはどのような方法があるのでしょうか。防犯対策に関する意識や防犯サービスに対する意向を見ていきます。

「自分や家族が気を付けるだけでは防犯対策は不十分だ」という質問に、あてはまる人の 7 割以上が「防犯のための設備やサービスが充実した住宅に住みたい」と答えており、あてはまらない人より約 40 ポイント高いことから、設備やサービスによって防犯対策したい意向が読み取れます。

図4. 防犯対策意識と、防犯設備・サービスの意向の関係【男女別】

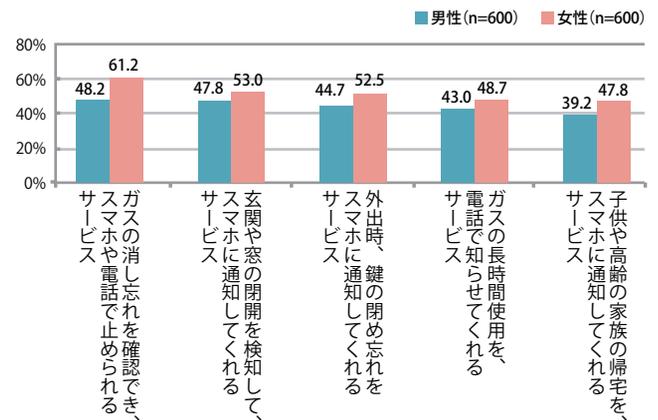


[TULIPWEB 調査 2019年1月]

4 女性の方が、自宅の防犯対策に魅力を感じる

次に、さまざまな防犯サービスに対する魅力度を聞いたところ、「ガスの消し忘れを確認でき、スマホに通知してくれるサービス」については女性の約6割、男性の約5割が、「玄関や窓の開閉を検知して、スマホに通知してくれるサービス」については男女とも約半数が魅力的と回答しています。図5の通り、いずれのサービスも女性のほうが男性より魅力的と感じる割合が高いことがわかります。

図5. 防犯関連サービスの魅力度 (魅力的である+やや魅力的であるの合計)【男女別】

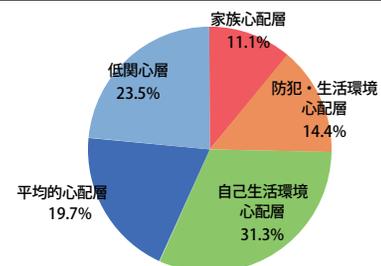


[TULIPWEB 調査 2019年1月 / n=1200]

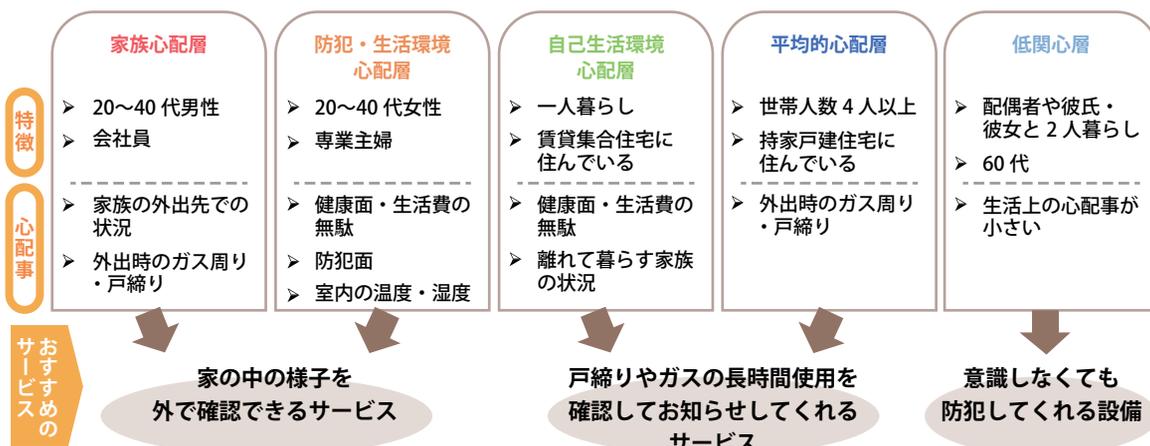
5 暮らし全般の心配事でタイプ分け

都市生活研究所では、生活上の心配事をもとにクラスタ分析を行い、心配の種類によるタイプ分けをしました。家族の外出先での状況が心配な家族心配層や、自分の外出時の家の状況が気になる防犯・生活環境心配層など様々なタイプの人がいることがわかります。それぞれのタイプにあったおすすめの防犯サービスを紹介します。

図6. 各タイプの比率



[IoT活用サービスに関する調査 / n=5156]



普段はあまり必要性を感じにくい防犯対策ですが、予め対策を行うことで安心して毎日を過ごせるのではないのでしょうか。何もないあたりまえの毎日がずっと続くよう、備えを心がけていきましょう。

都市生活研究所ホームページはこちら
<http://www.toshiken.com/>